

D-5 主婦の家政意識について（第2報）

梶山女学園大	高田 ひさ
梶山女学園中	岡野千枝子
山田家政短大	森川 きく
金城学院短大	生川 浩子

前報は主として主婦の生活時間、家事労働、余暇問題、家庭の経済、住宅問題および家庭生活のあり方と主婦の問題につき（一般居住者、団地居住者、主婦の職業の有無別により）広範囲にわたる実情調査を行なったのである。

今回は前報を基礎として、家庭生活のあり方と主婦の問題について主婦がどんな考え方や態度をもっているかにつき検討を加えた。

その結果、主婦が家事労働だけでなく精神面でも家庭の中心的存在になっている。

家庭の問題も生活全体について夫婦共同で考え行なおうとしている。

これらの共通点の他に、質問事項「主婦は家の中にいて家族のために奉仕的に働くべきである」「主婦も家事労働を能率的に処理して職場で働く方がよい」「主婦の労働もその価値だけ賃金を支払うべきだとの考えについて」の意見には差異がみられたので更にその内容について検討し考察した。

以上のような点において、各所に主婦の近代的な家政意識がみられ民主的な新しい家庭が形成されつつあることがわかった。